

芸術の森地区町内会連合会

広報

やませみ

●地域を支えた力



常盤發展の基礎作りに献身 生水 清作 氏

八年（明治四十一年）生れの
氏は大正十五年現住所（常盤町
目）に移住、開拓に従事し、主
力を入れ三町歩余りの水田農
努力され、終戦直後の昭和二
三十八才の若さで常盤町内会委
就任しました。この頃常盤の
盛んに討論され「土場どん詰
われている道路を幹線道路に
が必要不可欠との願いを持つ
りました。氏は当時の実力者
々議の中野藤次郎氏（故人）
と相計り町の道路課長のた
呼びかけ丸駒線実現のため
めそのルート探索を試み
よう、昭和二十三年の
冬、一行四名の探検隊？
は雪中行軍を敢行しまし
た。その時のルートが現

在の国道四五三号線のルートになつた事は知られるエピソードです。昭和三十年町議に当選されるや幌市との合併問題等で活躍され合併実現後、会度は市街化調整区域の線引で常盤地区発展の為、境界線延長を当局に強く要請、交渉にあたりました。そうした立場から隣家の桐越氏と協議し自らの耕作地を宅地造成地として手放す英断をしました。この決断が契機となり現在の常盤団地が実現し後続の団地造成が急激に拡がったと地元の事情を知る人々は認めています。その他、発電・電話・誘致・道路改良工事・森林愛護に尽力し、農協理事・保護司・老人クラブ等草創期の基礎を築かれた数々の功績を永く語り継いでいきたいのです。氏は現在八十八才ですが、健健で社会奉仕等に活躍されています。

年も是非参加いただきたいと
念じお札を申し上げました。会
場の後始末も各町内会長の協力
で無事終了、反省会で簡単な夕
食を取り互いの労をねぎらい、
来年への抱負を語り合いました。
かくして「第一回芸術の森文
化祭」は予定通り無事終了する
ことができました。来年も又薦
薦する頃、皆様の作品を鑑賞した
いものです。

たと思う。▼女性通訳は「韓国は戦争中です。」と云つて目を伏せた。統一展望台から見る臨津江（三十八度線）には軍人の姿はなかつたが鉄条網を巡らし殺伐としていた。注意して見ると国道は一瞬にして滑走路と化すようになっていた。▼島国根性の日本人、国際音痴日本人と云われるが、隣国韓国について無知を痛感させられた旅であった。手元に「霧の中の祖国」森岡武雄著（常盤在住）「劉連」「穴の中の戦後」野添憲治著がある。韓国人と中国人の強制労働の記録である。北海道の山野をさ迷う二人の青春はもどらない。森岡氏の著書に刺戟されての韓国の旅であった。

早速各町内会に案内状が配布され、出品依頼と宣伝の活動がはじまりました。

〆切の十月二十日迄の申込みは、少しあびしいものでしたが、各町内会長を通じて出品参加を強く働きかけました。

十一月三日の会場設営の日は午前十時から星部長の陣頭指揮のもと各町内会長、女性部、文化サークルの方々の汗だくの設営作業が終わつたのは夕暮れ迫

らわの設営でしたが和気あいあい作業は進みました。



二日間盛大、華やかに開催、文化の薫が会場に充満、地域の文化的活動が高く評価される作品の優秀さに感嘆の声続発。新しく芸術の森の地区町内会連合会が発足して六ヶ月、各専門部の活動もようやく軌道にのり、動き出しています。秋の最大イベントとして、「文化祭開催」が体育文化部から提案されたのが九月の定例理事会で決まりました。

次へーしに部門と御社名を紹介しました。紙面を借り御協力に感謝いたします。

平成7年12月20日

平成7年12月20日

発行 芸術の森地区
町内会連合会
印刷 (株)辻孔版社

第1回 文化祭

芸術の森地区 初めての文化祭

やませみの眼

▼初秋の好天を選び、
金山・慶州・ソウルそ
して統一展望台と韓國
の南から北の境まで五
日間の旅を楽しんだ。

各部門とも、目を見張るよう
力作が並び、さすが芸術の森
区町内会と、感嘆させられる
品が陳列されました。うれし
事に、小林区長さんの絵画・
田市議の陶器の出品もあり、
場は一段と盛り上がりを見せ
いました。

出品に協力くださった方々
次ページに部門と御芳名を紹
しました。紙面を借り御協力
感謝いたします。

来年は第二会場も設営しな
ればと思われる程の出品数で
主催者としてうれしい極みです
出品総数一五〇点、出品者八八
七名 参観者は五〇〇名(一
帳者一九八名)が作品を鑑賞
てくれました。

十一月五日、二日間の文化
も無事終了、出品された方々
作品と寸志を添えお返しし、



▼初秋の好天を選び、金山・慶州・ソウルそして統一展望台と韓国との南から北の境まで一日間の旅を楽しんだ。▼人口四百万人の金山は韓国の台所で活気に溢れ、アジア的なチャカルチ市場は喧騒を極めていた。童頭山公園には文禄・慶長以来反日運動のシンボル忠武公の像が金比羅宮と同居していた。▼新羅文化を伝える慶州の天馬塚古墳出土の遺物や仏国寺の建築と書は日本文化の原点であり、奈良・平安文化の源流を確実に物語っている。ソウルにある日本統治時代の朝鮮総督府(現国立中央博物館)は景福宮と光化門の中間にあり韓国人には痛恨の建物である。激論の末に取り壊しが進んでいる。旅のあいだ通訳と案内を務めてくれた女性からは、一度も日本の経済・文化・教育・道徳等について讃える言葉は聞かれなかつた。前総務庁長官の問題発言は帰つてからであつたが韓国人々に与えた衝撃は想像以上であつたと思う。▼女性通訳は「韓国は戦争中です」と云つて目を伏せた。統一展望台から見る臨津江(三十八度線)には軍人の姿はなかつたが鉄条網を巡らし殺伐としていた。注意して見ると国道は一瞬にして滑走路と化すようになっていた。▼島国根性の日本人、国際音痴日本人と云われるが、隣国韓国について無知を痛感させられた旅であった。手元に「霧の中の祖国」森岡武雄著(常盤在住)「劉連」、「穴の中の戦後」野添憲治著がある。韓国人と中国人の強制労働の記録である。北海道の山野をさ迷う二人の青春はもどらない。森岡氏の著書に刺戟されての韓国の旅であった。

第1回文化祭出品者一覧

出展者数 85名 2団体 出展品数 242点 参観者数 189人 (2日間の記帳者のみ)

氏名	点数	町内会名
絵画の部		
佐藤宗昭	2	石山東
斎藤孝衛	1	石山8区
小林敏美	2	南区長
鈴木ナオ	3	常盤団地
高橋菊次郎	2	常盤2区
工藤利彦	3	石山東
井上美雄	3	石山東
吉田裕美	1	石山8区
井手義明	1	石山東
本間ハル	4	常盤2区
草藻絵の部		
井手義明	1	石山東
和紙ちぎり絵の部		
米谷義子	2	常盤1区
高橋節子	1	アートパーク
中坊寿子	1	アートパーク
押し絵の部		
鍵谷恵子	2	サンブライト
蓑輪京子	10	見晴
木村牧子	1	連絡所
書道の部		
川上春子	1	石山8区
阿部桂子	1	石山8区
柳アサ子	1	石山8区
志水きみ子	1	石山8区
浜出文江	1	石山8区
伊藤キクエ	1	石山8区
田渕節子	1	石山8区
前田正弘	3	常盤2区
藤川竹穂	1	石山東
梶原雅游	1	石山東
菊地香葉	1	石山東
白川香翠	1	石山東
荒木西月	1	石山東

氏名	点数	町内会名
田中竹嶺	1	石山東
櫛引真三子	1	真駒内駒
野崎紀美代	1	常盤団地
中村重美	1	石山東
文芸の部		
井上美雄	1	石山東
井手義明	11	石山東
木彫の部		
三島俊樹	3	常盤2区
櫛引清和	1	真駒内駒岡
三宅初子	1	常盤2区
工芸の部		
山口豊治	1	真駒内3団
木村牧子	1	連絡所
井手義明	3	石山東
横山直弘	2	石山東
松野正勝	2	石山東
陶芸の部		
中村裕	2	真駒内駒岡
川村広子	3	常盤1区
西埜秀吉	5	石山東
富田新一	7	市議員
写真の部		
児玉輝夫	4	常盤団地
安部俊雄	3	常盤1区
伏屋哲夫	5	石山東
本間正雄	1	石山東
阿良真一	1	連絡所
井上千秋	1	石山東
笛淵大歩	1	石山8区
斎藤瞬一	3	常盤団地
生花の部		
森本美子	1	石山東
堂本サツヨ	1	常盤2区
岩田静子	1	常盤1区

氏名	点数	町内会名
柴田ミチ	1	常盤1区
大畠良子	1	石山東
手芸の部		
福岡トヨ子	2	石山東
水越弘子	1	石山東
楠光子	4	石山東
山田幸子	2	石山東
江頭久美子	1	見晴
蓑輪京子	26	見晴
木村牧子	1	連絡所
聖静学園石山	5	見晴
鈴木チヨ	4	石山東
小川嬉栄子	5	常盤1区
大木陽子	2	連絡所
松野正勝	2	石山東
吉沢孝子	1	石山東
升田佳子	3	常盤団地
木藤フミ	4	常盤団地
三沢智子	1	石山8区
工藤和子	1	石山東
高橋良子	4	石山東
川渕ひろ美	2	石山東
鍵谷恵子	8	サンブライト
藤堂スエ	1	石山東
白川寿江	1	石山東
盆景の部		
福永三成	1	石山東
その他の部		
横山省子	3	石山東
千葉康晴	30	アートパーク
小島吉則	1	石山東
菅沼雅子	1	石山東
特別出展販売		
南陽荘	12種	158点

医療法人 五月会

小笠原クリニック札幌病院

札幌市南区石山東7丁目 ☎(011)591-1200

■概要 診療科目／外科、内科、胸部外科、理学療法科、泌尿器科(人工腎臓)、麻酔科



政府登録 国際観光旅館

HJ 定山渓 ホテル



〒061-23 札幌市南区定山渓温泉西4丁目 ☎(011)598-2111 FAX(011)598-2110

■研修旅行報告

ハミングふるさと会議

総務部長 伊藤正

平成7年度ハミングふるさと会議の主催で十月中旬他地区との交流見学情報交換のため二カ所の地区を訪問した。

南区役所出発八時四十分、一行のメンバーは平野市民部長他区職員四名事務局四名地区委員十八名で、最初の訪問地は社会福祉法人黒松内つくし園精神薄弱児施設りべし学園生活寮である。園長中西正清氏のこまやかな説明の後園内をまわる。中でも生活訓練場所クリーニングの施設は素晴らしいもので洗い、プレス、配達と園児達の懸命な姿には感服した。又地域住民と共に野菜作り、苺づくりは地域との結びつきを一段と強め町民

が施設を温かく見守っている事を強く感じた。ちなみに人口は約二千人である。「子ども達は夏休み冬休み家に帰るより園に帰つて来る方が樂しみである」と中西園長は優しく顔に笑みを浮かされた。

市ではホテル・セビアスで当地の代表の方々と情報交換と云うより室蘭の新たな飛躍に向けてのルネッサンスをたっぷりと聞かされた。

市民主役のライトアップ千日点灯、もちろん北電の好意大で光は市民を魅了したようである。新時代へのアクセス白鳥大橋を見学、きびしい学習時間に帰途は居眠り。

■女性部主催

「健康講話」盛大に終了

講話が開催されました。

芸術の森地区会館二階の大ホールを会場にして、五輪橋整形外科病院医師の板橋尚先生を講師に迎えて「難病の行方」と題し

去る十月一日(日)絶好の秋晴れのもと、私達町内会発足二十周年記念式典を団地会館で盛大に行いました。前半の式典は多数の来賓のご参列のもと、厳粛に取り運び功績のあった方々への感謝状贈呈、来賓各位からの祝辞等つづがなく終り、後半は駐車場にテント村を設置し懇親会を行いました。ドラム缶を改造した炉で豪華な焼き肉バーベキューがくり展げられ、常盤小学校児童のスクールパン

去る十一月九日(木)十三時三十分より十五時まで、芸術の森地区会館女性部の主催で、平成七年度の「地区健康づくり運動事業」の実践活動として、「健康

三〇戸の大世帯に発展しました。この二十年間多くの先人や先輩達のご努力で社会環境も整い、楽しい町内会活動開まれた生活、そんな私達の町内に平

が、関係官庁も私達の要望に耳を傾けて下され、前向きに解決される見通しです。私共は住民パワーを發揮し協力して実施した事業です。

見学コースはバスを利用して、南区市民見学会が十月二十六日十時より十五時まで実施され四十三名が参加しました。市民見学会は区役所の協力を得て、地区連町女性部が企画・実施した事業です。

百景園(昼食)→日口友好交

常盤団地開町二十周年記念式を終えて

常盤団地町内会長 館岡武治

設立二十周年の記

成六年の夏、突然に東斜面林地の開発問題がおしまいました。その時以来、町民は協議に協議を重ね、全町挙げて反対運動を実行することになり署名運動や関係官庁からの中止勧告を請陳しました。それが平成七年四月現在で四

年で、参加者のカラオケ大会等住民うちそつて楽しいひと時を過ごしました。

又記念事業の一つとして記念誌も編集委員の大変なご苦労のもと製作され、皆様にお配りすることができました。

私達の町内会は昭和五十年に設立されましたが当時はまだ世帯数四十三戸でした。それが平成七年四月現在で四

女性部で企画・実施

流会館の順に見学しました。

●文化交流館(白石亭)は白石

区本通り十七丁目にあり、昭和四十年に建築され、昭和六十三年に市が買収し、外国からの来客に、お茶・生け花・舞踊などを紹介する接遇施設として活用されています。日本庭園(敷地約七千六百畝)に囲まれた和風建築(一部二階約三百二十四坪)で和室・茶室・舞台などがあり市民にも無料で開放されています。見学者は広い庭園を散策し珍しい植物を観賞しましたが「春には、是非訪れたい」ともらしていました。

○日口友好交流会館は豊平区平岸二条十六丁目にある道立の施設であります。

ロシアの文化や生活を伝える数多くの展示品があり、見学者は「近くで、遠い国ロシアをすいぶんと身近に感ずることができた」と感想を述べていました。

●明年度も是非見学会を実施して、多くの人々が参加し、女性部の交流を深め、協力の輪を広げたいとの意見が出されていました。

○明年度も是非見学会を実施して、多くの人々が参加し、女性部の交流を深め、協力の輪を広げたいとの意見が出されていました。

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

